



KUFS TOKYO NEWSLETTER

2009年6月11日

京都外国語大学校友会東京支部

VOL.14

トピックス

- ごあいさつ
- 総会・懇親会のお知らせ
- 外大キャリアサポート
- 外大生・横顔シリーズ
- 海外便り「フランス編」
- 本部メンバー紹介

* 東京支部 NEWSLETTER 第14弾 *

6月は春から夏への季節の変わり目、梅雨がやってきます。ちなみに関東地方の去年の梅雨入りは5月29日でした。湿気が多い時期で気分も湿りがちですが、梅雨があることをプラスに考えて、雨とつきあっていきましょう。傘はその形状が“末広がり”のため縁起物だったといえます。傘でおしゃれをするのも一案かも☆☆



この東京支部 NEWSLETTER も今回で **14回目**です！
KUFS 現役生と卒業生の架け橋になることを目標に、情報交換のコミュニケーションスペースとして、ますますの充実を図ってゆきたいと思います。まだ **NEWSLETTER** を受け取られていらっしゃらない方をご紹介くださいますよう、ご協力をお願いいたします。

連絡・投稿先は >>>tonegawa@gm-group2.net

総会・懇親会のお知らせ

京都外国語大学 校友会 東京支部主催
「第21回関東地区卒業生の集い」(総会・懇親会)



今年の
東京支部主催の総会・懇親会は
7月4日(土)11:30-14:00
天王洲アイル東京シーフォートホテル

テーマ: "Change! Yes, We Can"

100年に一度の大不況といわれ、経済や政治はもとより、日常の生活シーンにおいても様々な変化が起こっています。しかし、一番変わらなくては成長してはならないのは、われわれ一人ひとりかもしれません。そんな思いも抱きつつ、懐かしい仲間との語らいをもちながら楽しい週末のひと時を過ごしていただきたいと思います。上質な語らいを楽しんでいただくため、格好の空間を皆さまにご用意させていただきました。

会場はシーフロントに位置し東京湾が全貌できる第一ホテル東京シーフォートです。最高階、28階の Top of the Bay がその語らいの会場です。眼下に繰り広げられる Tokyo Bay のパノラマは息を呑む美しさです。もちろん、美味しい食事とワインも白・赤両方を用意させていただきます。非日常を普段着でゆったりと楽しんでください。

東京支部主催

関東地区卒業生の集い

総会・懇親会のお知らせ

7月4日(土)11:30-14:00

天王洲アイル

東京シーフォートホテル

懐かしい仲間との語らいを！

懇親会終了後も

楽しんでいただきたくて

早めのスタートです！

7月4日、お待ちしております！

京都外大校友会富山支部

総会・懇親会のお知らせ

8月22日(土)

パレブラン高志会館にて

民謡ライブを企画

民謡歌手 寺崎美幸さん

外大キャリアサポート事情

池崎宏昭センター長

今回は、例年より少し早くスタートしたいと思います。11時半からスタートの午後2時の終了です。その理由は、海辺に佇むこのホテルの立地を活かして、その後、お手軽なアフタヌーンクルーズやその夜のディナークルーズ、ナイトクルーズなどを楽しんでいただき、7月4日を外大卒業生の「思い出作りの一日」としていただきたいからです。

では、皆さま、7月4日にお会いいたしましょう！！

京都外大校友会 富山支部からのお知らせ



京都外国語大学校友会のみなさま、お元気ですか。富山支部は、第8回総会・懇親会を8月22日(土)、パレブラン高志会館にて開催いたします。

懇親会では、富山の民謡歌手 寺崎美幸さんのライブを企画しました。寺崎美幸さんは2005年5月に日本民謡フェスティバルで”越中おわら節”を歌いグランプリに輝いた方です。前回は総会・懇親会の後、八尾の”おわら風の盆”前夜祭に行ってきましたが、今回は室内でグランプリに輝いた民謡を楽しみます。ご期待ください。さらに、2次会も用意しています。ご参加を待っています。

京都外国語大学校友会富山支部 第8回総会・懇親会

日時:平成21年8月22日(土)16:00 - 18:30(受付 15:30~)

場所:パレブラン高志会館 (076-441-2255) 富山市千歳町 1-3-1(JR 富山駅より徒歩)

会費:5,000円

2次会:パレブラン高志会館 B1 ボヘミアン

会費 2,000円 19:00 - 21:00

お問い合わせは、富山支部 稲垣 喜美代 076-422-3503

安村美千代 076-467-4180

外大キャリアサポート事情 第9回

今回は「就活」の現状についての続編です

この4月からキャリアサポートセンターは、池崎宏昭センター長にバトンタッチされ、新たな取り組みが計画・実施されようとしています。前号では現在「就活」が一般的にどのように実施されているかについて触れました。

今の就活事情

遊びも学問も二の次なのか！

就活のバカヤロー

企業・大学・学生が演じる茶番劇

という著書から

サークルのリーダー？

納豆のように粘り強い？

人事担当者の声

自然体で自分を語ることに尽きる

外大生・横顔シリーズ

メキシコ料理レストラン

La Casita オーナーシェフ

渡辺庸生さん

就活は、3年生の夏休みが終わった頃から始まり1年から1年半をかけて学生は就職先を見つけるために奔走することになります。しかし、大学によっては1年生から始まる場所もあるようで、遊びも学問も二の次なのか？！と思わざるを得ない今の就活事情があります。

「就活のバカヤロー ～企業・大学・学生が演じる茶番劇～」という本が、多くの大学のキャリアサポート関係者に読まれていると聞き、当編集部でも早速購入して読んでみました。

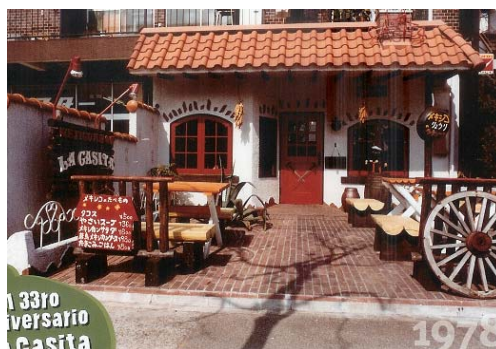
メディアや就職情報誌で、「採用を決めた一言」が紹介されるや翌年から同じセリフを口にする学生が一気に増えるようです。例えば、「私はテニスサークルの代表でした」、「私は納豆のように粘り強い人間です」、といった具合です。学生たちは「就活＝選考に通ること」と考え、そのため、自分の売りとなる部分を必死に探します。ゼミ、クラブ活動やサークル、アルバイトなどを振り返り、自己PRのネタを必死に探すわけです。本の中から面白い例をご紹介します。

「私は100人いるテニスサークルの代表を務めていました。話し合いによって、サークル内のトラブルも率先して解消してきました。また、100人全員にとって思い出となるようなサークル合宿を実施しました。このリーダーシップを御社でも発揮したいと思います。」(学生)。次に人気のバージョンは、「私は納豆のように粘り強い人間です。といいますのも、サークルでは体育会系なみの練習を日々、地道にこなしてきました。結果、難敵を倒し、学内大会で優勝することができました。このねばり強さを御社でも活かして生きたいと思います！」(学生)。

このように、学生は就職の際の面接では、「納豆のように粘り強い人間です」、「エアコンのように適応能力抜群です」といった、「〇〇のように××な人間」という自己紹介をしたがるようです。特に、「納豆」は大人気なようです。ただ、「納豆人間」は面接を進めてみると、実際は納豆ほど粘り強くなく栄養価もなく、名が体をなしていないケースがほとんどで、面接官も思わず「あなた、納豆食べたことあるの？」と突っ込みもあるようです。

要はわざとらしい自己PRではなく、自然体で自分という人間を語ることに尽きるというのが採用する会社の人事担当の声です。今号は、同著書より今の学生的一端をご理解いただくための記事をご紹介します。

外大生・横顔シリーズ



～開店当時の手作りレストラン～

メキシコ料理レストラン

La Casita オーナーシェフ

昭和46年 イスパニア語学科中退

渡辺庸生さん

(昭和23年10月7日神戸生れ)

連載6回目です。

各国大使館員、

メキシコ観光審議会

外資系企業役員

多くの人たちに支えられて…

予約の取れない人気店に

順調な運営に黒い影…

地上げ屋に目を付けられ、

店舗を手放すことに！

近代、数多くのシェフたちが知らしめたイタリア料理に、ピッツェリア、トラットリア、リストランテと店の形態に区別があるのは周知の事実だが、メキシコ料理に置き換えてみるとまだまだその認識には程遠く、これから30～50年の時間を費やさなければいけないのが実情である。振り返れば30年前の私はレストランとしてのメキシコ料理店を位置づける思いに強く駆られていた。時代に助けられたのは、その頃の代官山のレストラン事情が小川軒を初めとしてマダム・トキ、アントニオ、シェ・リュイ、レンガ屋等、凄腕のシェフを配する一流店しかなかったことが一因とされるであろう。無謀にもそんな所に出店してしまったラ・カシータが徹底して味を追及する姿勢で臨むものだから、よほどの裏づけのある店だと顧客の間にありがたい噂が広まったのである。各国の大使館員だけでなく、メキシコ観光審議会の船場局長の呼びかけで世界40ヶ国の局長たちの集いがあったり、外資系会社の役員たちの家族の食事会などでお客様の殆どが外国の方ばかりで埋まる日々もあった。顧客の絶大な後押しに恵まれて、こうして付加価値の付いたラ・カシータは、連日満員で予約の取れない人気店として世間に認知されていったのである。

順調な店の運営を揺るがすその黒い影は、何の前触れもなく突然やってきた。9年も過ぎた年の暮れのことだった。厳つい面構えの男が訪ねて来て、「ええ場所やなあ、欲しいなあ。」と話しかけてきたのである。最初は冗談だと思って聞き流していたのだが、本気らしく、この場所の権利を放棄して出てくれと言うのだ。後に知ることになるが、当時は都心の一等地を土地の転売をして利鞘を稼ぐ、いわゆる地上げ屋と呼ばれる人々が横行していて、正にその類の人物だった。幾度かの交渉の中でこちらの言い分は通じないままに、相手の要求は脅迫めいた内容にエスカレートしていった。従業員に対する危害や放火を匂わす発言には成すすべもなく、代替地も決まらぬ状況で営業を断念する事態に追い込まれてしまった。10数人いたスタッフたちも事の深刻さに解散を余儀なくされ、料理長と他2名残して再会のプランを相談することになった。近くにアパートの一室を借りて電話をひき、毎日かかる予約の方々に店がない事情を説明して、「場所は未定ですが再開の折には必ずお知らせします」と連絡名簿を作成していった。結局、現在の場所にオープンするまで8ヶ月の時を要したが、名簿の人数は6000人を超えていた。



次回へ続く～TO BE CONTINUED～お楽しみに！

外大生・横顔シリーズ

エミトラベルパリにお勤めの

新卒生、武藤愛美さん

社会人 4ヶ月

頑張っています！

3回生の冬に転機が訪れ、

学生フランス会の代表に

学科内交流活性化のための

イベント企画

団体の代表として行動したこと

就職活動もそっこのけで

取り組んだおかげの就職

目標は高く常に行動し続ける

自分でありたい！



フランス専門の旅行会社
エミトラベルパリにお勤めの
平成20年卒、フランス語学科卒
(今年の卒業)武藤愛美です。

学生の頃の思い出

今年の3月に外大を卒業したばかりで、こんなに早く学生生活を振り返ることになるとは思いませんでした。

現在の会社に入社して早4ヶ月。時間が過ぎるのはあっという間で、毎日必死に頑張っています。

さて、学生の頃の思い出ですが、私はいたって普通の学生でした。勉強は二の次？アルバイトや部活動、短期留学や就職活動などなど、やりたいことがたくさんありすぎて、あまり模範的な学生とは言えなかったかもしれません。

そんな私に転機が訪れたのは、三回生の冬。そろそろ学生生活も終わりに向かっていた時に、勢い余って学生フランス会の代表になったことでした。正式な団体として活動していたわけではなかったのですが、主な活動内容としては、フランス語学科内の交流を活性化すること。そのためにイベントを企画するというものでした。外大は規模が小さくアットホームな雰囲気魅力ですが、実際は一部の人たちとのみ交流があるという程度で、入学当時夢に見ていた学生生活はこんなはずじゃなかったと感じている学生はたくさんいました。そんな思いを抱えた人たちの、きっかけづくりになればと思いつめたのでした。

しかし、残された時間は一年。とにかく試行錯誤の連続でした。メンバー集めに始まり、イベントを企画しては却下され、人が集まらないこともありました。こんなことを言うのはおかしな話ですが、最近の学生が求めているものがわからない、ということに日々頭を悩ませていました。それでも続けていることで認知されるようになり、応援してくれる人も増えていきました。新入生歓迎会や留学説明会、フランス週間、立食パーティーや卒業生を招いての講演会など、そのたびにいろんな方にお会いし、もしかすると一番楽しんでいたのは自分じゃないかと思うほど、多くのことを学ばせていただきました。団体として、代表として、成功したかというそれはわかりませんが、「行動した」という事実が何よりも励みになりました。

就職活動そっこのけで、一心不乱に取り組んでいたおかげか、現在の会社とも出会えました。思いを行動に移すこと、とにかく自分を信じてやりきること、全てのことに通じていると感じています。

現在は、フランス専門の旅行会社でオペレーターをしています。お客様に楽しい時間を過ごしていただくために、最適な商品をご提案していけるように毎日が勉強です。目標は高く、常に行動し続ける自分でありたいと思います。

海外便り「フランス編」

夢の実現のためにフランスでがんばっていらっしゃいます
平成 12 年度フランス語学科卒業の寺尾恵さんからのお便りです。

海外便り「フランス編」

フランス語学科卒業の

寺尾恵さん

フランスは人種、民族いろいろ



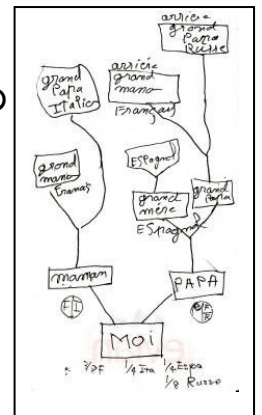
ご先祖様はどんな人？

フランスは色々な人がいます。日本でももちろん、色々な人はいるけど、フランスでは人種、民族いろいろ、です。日本みたいな島ではなく、いくつもの国に隣接する大陸に位置し、戦争で減った人口を移民で補い、奴隷制を経験し、いつしか混じりけのないフランス人は一部の貴族を除いてはいなくなったと聞いていたけれど、どれほどのものかは実感なし。周りを見回してみると、髪の毛、肌、目の色だけにとどまらず、面長、丸顔、引き目、アーモンド目、丸目、直毛、猫毛、縮れ毛、足の長い人、短い人本当にいろいろ。

身近なところでうちの彼の家系について質問これが彼のうちの簡単な家系図一番下のMOIと言うのが自分のことなので、すぐ上がお父さん、お母さん。

解説するとお父さんのお母さんがスペイン人。お父さんのお父さんはロシア人のお父さんとフランス人のお母さんとの子供。

お母さん側を見てみよう。お母さんのお母さんはフランス人だけど、お父さんはイタリア人。まとめると彼の血は $\frac{3}{8}$ がフランス人で、 $\frac{1}{4}$ がイタリア人。同じく $\frac{1}{4}$ がスペイン人。そして、 $\frac{1}{8}$ にロシアの血が入っているんだそうだ。なんともややこしい話。そして、色々な国の人の特徴をちょっとずつとってうまれたのが彼なのだ。



ところで、家族を大切にするフランス人たち。頻りに家族で食事会をひらく。フランスの母の日は6月の第一週の日曜日。ちなみにお父さんの日は2週目。家族親戚で集まって良いお天気を利用して、お庭でパーティー！！みんなでプレゼントを持ち寄り楽しい日曜日を過ごしたのです。さて来週はお父さんの日パーティー。離婚率の本当に高いフランスなので、母の日と一緒に過ごした家族とは別の家族と父の日を祝うことも頻りにあるそうです…。なるほどねえ。

*** ガンバレ、外大卒業生！ ***

いろいろな国の人の特徴を

ちょっとずつもって

うまれてきた…MOI

ややこしい…

家族を大切にするフランス人達

頻りに家族で食事会

京都外大校友会メンバー紹介



今回から京都外大校友会本部のメンバーを紹介いたします。

第1回目は昭和40年度 英米語学科卒業校友会副会長 山田勝明さんです。

校友会活動への更なるご理解とご協力を！

東京支部の皆様には、常日頃校友会活動に多大のご理解とご協力を頂き有難くお礼を申し上げます。又支部としての活発な活動に心からの敬意を表します。この度、本山支部長より私に副会長就任の挨拶を、とのご依頼を頂戴しました。役員就任挨拶は会長以外に例がなく、私個人としても些か面映くあります。逡巡するものがありましたが、折角のご依頼を無にするのも失礼と思い、私の校友会での略歴と校友会への思い等を述べさせて頂き皆様への挨拶に代えさせて頂きたいと思っております。

記憶が定かではありませんが、私が校友会の常任幹事への誘いを受けたのは平成5年のことであったかと思っております。当時私は東山七条の京都パークホテルに勤務しておりました。その後平成14年に会計監査に、平成16年に会計に、そして、今年4月に副会長に選任されました。

常任幹事を受けさせて頂いたのは京都外大卒業生として、そろそろ自分も校友の為に何かお役に立ちたい、自惚れではなくそれが地元に住む者の努めではないか、との思いからでした。個人的な事ですが、在学中4年間スカウトクラブに所属し、優秀なスカウトであった先輩や同期から奉仕の精神を学び、卒業後はホテル業界に身を置き、人のお世話をすることを業としていたことと無縁で無かったかも知れません。それ以前から大学や校友会にパークホテルを利用してもらうこともあり、大袈裟と笑われるでしょうが自分なりの恩返し、との思いもありました。私に常任幹事の機会を与え、今日までご指導頂いた校友会の方々には今も感謝しています。そのようなことで現在に至りましたが、常に願って来たことは校友会と母校の発展であります。厳しい社会情勢の下ではありますが、幸い校友会活動は東京支部初め各支部の皆さんの活動に支えられ、校友の輪は更に大きく強固なものになっています。母校も常に弛まぬ創意工夫を重ねられ、他の追随を許さぬ独自性と実績を内外に遺憾なく発揮されています。

校友の輪の更なる繋がりと広がりを目指して坂本会長の下、役員・常任幹事共々力を合わせて校友会の発展に努めて参ります。私も微力ながら会長を補佐しベストを尽くしたいと思っております。終わりに東京支部の益々の発展と皆様のご健勝を祈念し、校友会活動への更なるご理解とご協力をお願いして就任の挨拶とさせて頂きます。7月4日の支部総会で皆さんにお会い出来る事を楽しみにしています。

*** 活動メンバー募集中 ***

京都外大校友会メンバー

40年英米語学科卒業

山田勝明副会長のご紹介

校友会常任幹事への誘いは

平成5年

京都パークホテルに勤務の頃

会計監査、会計を経て

今年4月に副会長に選任

校友会のために役に立ちたい

恩返しをしたい……

校友会と母校の発展を

常に願ってきた

校友の更なる繋がりと発展の

ためにベストを尽くしたい

東京支部事務局

103-0024

東京都中央区日本橋小舟町

2-9 カーサ日本橋ビル7階

(株)グローバルメディア内

電話

03-5623-6550

FAX

03-5501-9031

電子メール

tonegawa@gm-group2.net

企画・編集： 森田 順子

発行責任者： 本山 裕彦

=====事務局便り=====

来月7月4日に開催される『東京支部総会・懇親会』に、たくさんの同窓生がお集まりくださることを心より願っております。

そのためにも現役学生と卒業生、また卒業生同士をつなぐ媒体となるよう、できるだけ多くの卒業生の横顔を引き続きご紹介していきたいと思っております。

皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

皆様の周りで活躍している卒業生、自薦・他薦を問いませんので、
当事務局宛お知らせいただければ幸いです。

連絡先は >>> tonegawa@gm-group2.net

=====